

各位

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品
代表者 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918)
問合せ先責任者 取締役 経営管理部 部長 中山 聖仁
(TEL 03-6880-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和6年2月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和6年3月期通期個別業績予想数値の修正(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,100	330	320	300	54.13
今回修正予想(B)	2,713	187	188	160	26.06
増減額(B-A)	△387	△143	△132	△140	
増減率(%)	△12.4	△43.3	△41.3	△46.7	
(ご参考)前期実績 (令和5年3月期)	2,942	△18	△21	△384	△85.19

修正の理由

業績修正理由につきましては、以下のとおりです。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症分類が2類から5類に引き下げになり、観光業や飲食業の賑わいも次第に戻りつつあり、同様に化粧品業界も鋭角的に需要が回復しつつあると考えておりました。当社においても、令和5年5月より「Good-byeコロナ禍」運動を始め、「脱マスク！笑顔の愛用者づくり」に取組み、営業施策においても、3年間開催を見送っていた「アーチストセミナー」が活況を呈し、各地で開催される「ホームパーティー」も好調に開催されていることから、次第に状況は良くなってきていると考えておりました。実際に、令和5年6月に発売しました新洗顔「アイビーアトラクティ」シリーズ(医薬部外品)につきましても、好評を博しました。

しかしながら、下半期に入ってから思っていたような需要回復には向かわず、逆に上記「アイビーアトラクティ」シリーズ(医薬部外品)以外の製品群については、思ったような出荷数にならず苦戦いたしました。特に浸透美活液の「レッドパワーセラム」および「ホワイトパワーセラム」が低調に推移しました。「レッドパワーセラム」は、目標30,000セットに対し、16,473セットの出荷にとどまりました。また、第4四半期に強化製品としていた「ホワイトパワーセラム」については、目標20,000セットに対し、13,754セットの出荷となりました。一方、レギュラー製品についても第4四半期は低調に推移しました。そのため、令和6年3月期通期売上高予想を3,100百万円から2,713百万円に修正いたします。第3四半期累計期間までは、前年同累計期間比で増収で推移していましたので、第4四半期における強化製品「ホワイトパワーセラム」の不振、レギュラー製品の不振が業績修正の主要因です。売上高不振の要因については、未だその原因についてはよく分かっておりませんが、訪問販売は人から人に伝えることが大事なことで、販売組織内でご不幸が続いたことから、新型コロナ禍の影響による超過死亡率の急増等も要因の一つと考えております。

利益予想につきましては、売上低迷による棚卸資産の評価額見積の変更および資材原料価格の上昇により売上原価率が約29.5%になると考えており、売上高低迷と売上原価率の上昇により、売上総利益が前事業年度比で約198百万円少なくなる見通しです。経費については、年間を通じて節減に努めてまいりましたので、前事業年度比で約404百万円削減出来ました。以上により、令和6年3月期通期の営業利益予想を330百万円から187百万円に、経常利益予想を320百万円から188百万円に、当期純利益予想を300百万円から160百万円に修正いたします。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上